



天体

地質

流れる水のはたらき

気象

天体

地質

流れる水のはたらき

気象

V字谷



V字谷は、川の(1)で見られる地形です。断面が「V」のように見える深い谷になっています。

川の上流ではかたむきが(2)で流速が(3)ため、(4)が大きく、川底が深くけずられることによってできます。



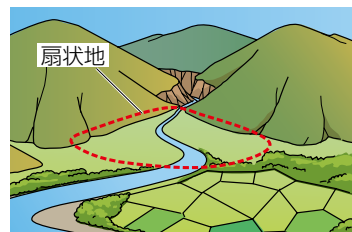
+プラスワン

V字谷と似たような地形に、U字谷があります。U字谷は断面が「U」のように見える谷で、谷にできた氷河が地面をけずることによってできます。

扇状地



扇状地は、川が山の谷間から平地に出るところにできる地形です。扇形に広がっています。



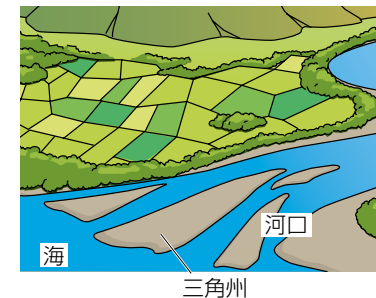
平地に出るところでは、川のかたむきが急に(5)になるため流速が(6)なり、(7)が大きくなります。すると、運ばれてきた小石や砂がたい積し、(8)の地形になります。

扇状地にたい積しているつぶは、比較的大きいものが多いため、水がしみこんで(9)となって流れていることも多く、扇状地が終わる部分でわき出し、泉となる場合があります。

三角州



三角州は、大きな川の(10)に見られる地形です。デルタともいい、大きな(11)をしています。



河口では、川底のかたむきがほとんどなく、流速が非常におそくなるため、(12)が非常に大きくなります。すると、運ばれてきた砂やねん土がたい積し、三角形の土地ができます。



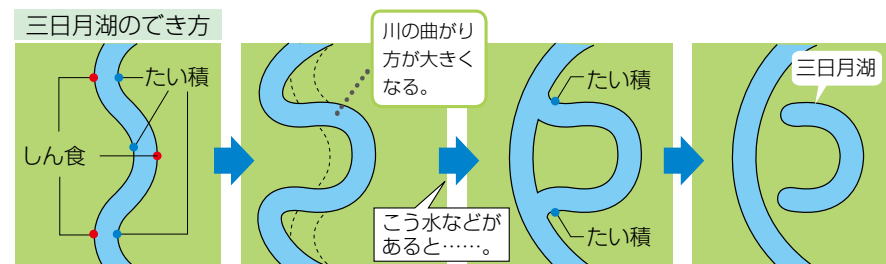
三角州は、海水の流れでけずられるため、必ずしも三角形になっているとは限らないのである。

三日月湖



三日月湖は、川のはたらきでできた、(13)をした湖です。

中流や下流の川が曲がっている部分では、外側の川岸が(14)、内側には(15)ため、川の曲がり方がどんどん大きくなっていきます。そこへ、大雨などにより洪水が起こると、川岸がくずれて新しくまっすぐな流れができることがあります。すると、大きく曲がっていた部分が取り残され、三日月形の小さな湖になります。



洪水



日本は海の近くまで山があることが多く、かたむきが(16)で流れが(17)川が多いです。そのため、台風などで大雨が降ると川が増水してあふれ、洪水が起こりやすくなっています。

洪水が起こると、田畑や家、道路などが水につかり大きな被害が出ます。

洪水への備え

洪水を防ぐために、いろいろな対策が行われています。

- ・堤防：川岸に土手を作ったり、コンクリートで固めたりして、川があふれないようにします。
- ・ダム：降った雨水をためることで川の水量を調節し、洪水を防ぎます。
- ・地下調節池：地下に作った調節池で、水の量が増えたときに、地下に川の水を流して洪水を防ぎます。



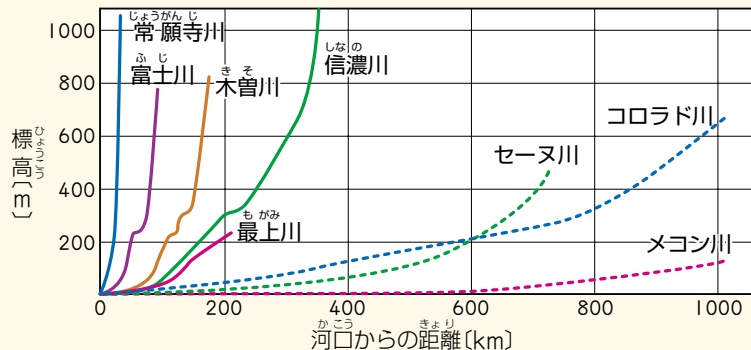
堤防



ダム

+プラスワン

日本は山地が多く平野が少ないため、川底のかたむきが急な川が多くあります。世界の川と比べてみると、そのちがいがよく分かります。



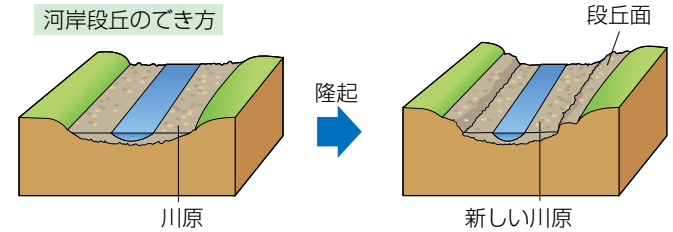
日本と世界の川のかたむき

河岸段丘



河岸段丘は、土地が(18)することによってできる地形です。平らな部分と、かたむきが急ながけが階段のように交互に現れます。

川が流れているところに、たい積作用によって川原ができます。土地が隆起すると、しん食作用が大きくなり、川底がけざられ、以前よりも低いところを川が流れるようになります。すると、新しい川原ができ、以前の川原が平らな部分(段丘面)として残ります。



川ではなく、海岸付近の平らな土地が隆起し、海ぎわが波によってしん食されることで階段状になった「海岸段丘」という地形もあるのだ。

+プラスワン

河岸段丘は、土地が隆起してできる地形ですが、土地が沈降してできる地形もあります。リアス海岸(リアス式海岸)は、山が多いところが沈降して海にせずむことでできた、複雑な海岸線をもつ地形です。

